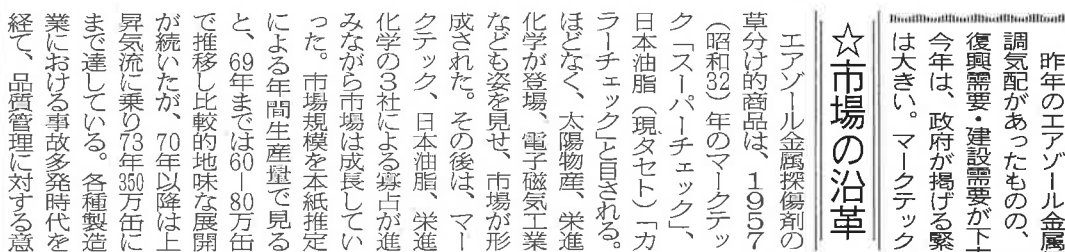


金属探傷剂



☆市場の沿革

昨年のエゾル金属探採刑市場は、エコカー補助金の影響で自動車向けに復興需要があったものの、原子力発電所向けが減速、それでも定期点検需要や震災災害復興需要、建設需要が下支えし、トータルで前年並みの市場規模を維持した模様。今年は、政府が掲げる緊急経済対策・大規模インフラ整備等に期待したいとの声は大きい。マーケットをタセト、栄進化学らが追う展開だ。

[illegible]

首位 テーマ ツク 追撃 の タセ、 ト 栄進 化学

定検需要で安定推移

一部銘柄の完成品輸入が重
なったことにより、国内生
産量は低迷、輸入品を含め
た市場流通量も減少した。
産276万缶、輸入140万缶、
後(国産271万缶、輸入130万
缶)、07年420万缶前後(国

08年480万缶前後（国産357万缶、輸入120万缶）となっている。09年の生産量は、前年のリーマンショックに端を発した世界同時不況により製造業が不振、その影響もあり、国産230万缶、輸入120万缶の合計350万缶前後と大きく後退した。10年は巻き返し、460万缶前後（国産361万缶、輸入100万缶）にこのまま復調するかに思われた11年は、東日本大震災

原発向
も
苦戦も

復興需要に期待感

☆市場の課題

検査する対象物を壊さずに、損傷の有無を調べる非破壊検査。その一翼を担うエアソール金属探傷剤（浸透、現像、洗浄を含む）は、主に表面欠陥を検出するのに用い、浸透探傷と磁粉探傷に分けられる。浸透探傷は染色と蛍光色に、磁粉探傷は着色磁粉と蛍光磁粉にそれぞれ細分化できる。日定検査も大きく、発電所の新規着工があると一気に需要が増加する。もう一つは、自動車製造業や鋼工業向けなど各産業で生産される各種部品・機器の出荷前検査需要である。エアソール金属探傷剤が91年に過去最高の生産量を記録した裏には、内需拡大によるチェック部品の増産が寄与した。生により、製造業はサブライチチェーンが寸断、自動車業界をはじめ生産がストップし、金属探傷剤市場にも少なからぬ影響があった。それに加えて原発事故や秋のタイ洪水なども重なり、市場縮小が懸念されたが、比較的影響は軽微に止まった模様。その後再び回復基調を強めるも、12年後半から液は3色作業環境をもと安全にする「安全増し探傷剤」を拡充した。

「昨年の実績は、数量・金額とも前年比微増。自動車向けは、秋以降減速したもののエコカー補助金の影響もあり悪くなかった。一方、プラント関連は落ちていたが、震災復興など建設資材向けが増えたため全体

☆各社の現況

製造業が不振、リーマンショックからの回復は「小休止」とも言えるだろう。しかし年末の総選挙・政権交代から田安・株価上昇が続き、政府による緊急経済対策も打ち出され、復興の期待は大きくなっている。

☆各社の現況

2009年中国・蘇州
火力発電所向けである煙室向け需要は落ちているが、

「当社需要の中心は定期点検・保守検査向け。昨年の実績は、原子力発電所トリクターとして、より安全で、より環境を重視した製品の研究開発に積極的に取り組んでいく」（取締役営業部長・栗原氏）。

として微増を確保した。また、環境・安全への意識は高まっており『エコチェック』は着実増、さらに販路に努める。今後もマーケットリーダーとして、より安全で、より環境を重視した製品の研究開発に積極的に取り組んでいく」（取締役営業部長・栗原氏）。

マル、磁粉探傷剤「マークトロン」など多彩に展開。昨年「レッドマークスペシャル」に、結露・凍結対応用、低温時に使用可能な前処理用洗浄液を拡充した。

マークテックは、染色浸透探傷剤「スーパーチェック」シリーズを主力に展開する。また、人や環境への安全性を追求し、天然原料・化粧品原料を主成分として使用した染色浸透探傷剤「エコチェック」や、蛍光浸透探傷剤「スーパーグロ」¹、蛍光磁粉探傷剤「スーパーマグナレ」²、10ゾル³など幅広いラインナップで展開する。昨年「スーパーチェック」シリーズに、マークテックの合併を解消し、現在の拠点は独資のマークテック上海化学有限公司である。本紙推定による（以下同）昨年の生産量は、150万缶前後（うち海外生産量60万缶前後）と観測される。海外生産品のうち約2割は海外向け（現地使用）の模様。

タセトは、染色浸透探傷剤「カラーチェック」、蛍光浸透探傷剤「ケイコーチェック」、磁粉探傷剤「ジカバ」でできたことから、トタルではほぼ前年並みからやや微減。昨年、上半期は悪くなかったが下半期になつて景気の後退・製造業の不振などが見られたように感じられる。しかし新政府が緊急景気対策の二つとして大規模なインフラの補修も挙げられており、今後にも期待したい。今後も化学規制に対応、時代背景やさまざまな検査対象物に対応し、お客様のニーズに応ずる。

期待感

「昨年実績は、前年とほぼ変わらず。原子力発電所を準備していく」（茨城工場長・相村氏）。

「昨年実績は、前年とほぼ変わらず。原子力発電所を準備していく」（茨城工場長・相村氏）。

低ハロゲン・低イオウ用、第2石油類を採用し（浸透液は3丁）作業環境をもつと安全にする「安全増し探傷剤」を拡充した。

「昨年の実績は、数量・金額とも前年比微増。自動車向けは、秋以降減速したもののエコカー補助金の影響もあり悪くなかった。一方、プリント関連は落ちていくが、震災復興など建設資材向けが増えたため全体向けは減、火力発電所向けは増、その他プリント向けは前年並み、自動車向けは前年と比較すれば良い。総選挙後、円安は進み、政府によるインフラ整備など、期待したい材料は多いが、業界に反映されるのは半年以上先のこととなるだろう。また、当社は昨年夏、仙台に東北支店を開設したこともあり、今後の震災復興を応援・期待していきたい」（理事・化学品統括部）

中国・順徳のラーヤケミカルよりの洗浄液を輸入している。昨年の生産量は90万缶前後（うち輸入40万缶前後）と観測される。

タイホーコーザイは「ミクロチェック」を主力に、価格対応品「ピンカラー」（中国製）も揃えている。「昨年実績は前年比ほぼ変わらず。固定したお客様に供給する形で、極端な増減はなく安定して推移している。今後も法規制の動き

長・津村氏。

昨年の生産量は120万缶前
後（うち約5%は東南アジ
ア向け輸出品）と観測され
る。

等々を注視・対応し、安定供
給を続ける」（商品企画室
長・野口氏）。

昨年の生産量は40万缶前
後（一部輸入品含む）と観

栄進化学は、染色浸透探傷剤「レッドマーク」シリーズを主力に、蛍光浸透探傷剤「ネオグロ」シリーズ、低ハロゲン・低イオウの「レッドマークスベシヤル」「ネオグロースベシヤル」

メーカーと
市販製品名

▼日一検査計測 (I) S チェック 420 リットル、AW ゾル▼栄進化学 (レッドマール) (ネオクロ) (レッドマール) クスベシヤル) (ネオクロ) スペシヤル) (マクナトロン) 各 420 リットル、日本瓦斯、AW ゾル、輸入品▼M H イソリユーションテクノロジーズ (アイヤシント) 450 ℃、AW ゾル▼スエカフアイン (EUS プレール) 金属探傷計 420 リットル、自家充填▼鈴木油脂工業 (スプレール) 探傷計 420 リットル、朝日エア▼タイゾーニチモリ事業部 (キスチエック) 480 リットル、東邦金属▼タイホーコーサイ (ミクロロチェック) 420 リットル、ダイソー、(ペンカラー)、輸入品▼太陽物産 (レッドチェック) 420 リットル、日本瓦斯 (マクナトル) 420 リットル、東洋エア▼タセト (カラースチェック) (フェイコーチェック) (シキチエック) 各 420 リットル、AW ゾル▼電子磁気工業 (スプレール) 蛍光磁粉 F Y 79000 型) (ナイトチェック) 各 420 リットル、AW ゾル▼トラスコ中山 (α タンシヨウ スプレール) 420 リットル、AW ゾル▼日本ワエルディング・ロッド (ウエル・チェック) 600 ℃、AW ゾル、輸入品▼マークテック (スーパースチエック) 450 リットル、600 リットル、コチエック 450 リットル、600 リットル、(スーパークロー) 450 リットル、(スーパーマクナトル) 450 リットル、AW ゾル、輸入品。